

知っているようで知らない図書館を紹介します

YOMMU!

おすすめの1冊



終末のフール

【伊坂幸太郎】

8年後、小惑星が地球に衝突し、世界は滅ぶ——そんなニュースが流れてから5年が経ち、恐怖や不安に駆られていた人々も疲れ、一種の小康状態になっていた。残されたあと3年を“生きる”人々のハートフルストーリー。短編集形式なので親しみやすく、読みやすい1冊です。伊坂幸太郎の描く、現実から一センチ離れた世界観にひたってみてください！あなたは終末をだれと、どう過ごしますか？

紹介者/前田 将吾 (1年)

植田正治 (日本の写真家シリーズ第20巻)

【植田正治】

最初、写真集をひらいた時の衝撃。この作品群は何だ、そう思った。日本にこんな写真家がいる。彼の作品は多くの日本の写真家たちの作品とはまるで違う。そこにあたかも最初からあったかのようなオブジェ的な人間たちが存在している。彼自身もその被写体になっているのだが、モダンで絵画的な作品からこれほどユーモラスな面が垣間見えるのは、彼しかなせなかった技だろう。図書館に足をお運びの際は、一番後ろの棚の彼の本のところまで行ってみたい。きっとその10秒後には体に衝撃がかけめぐっているだろう。

紹介者/倉永奈津美 (3年)

幸福論

【アラン著 白井健三郎訳】

同書は、フランスの哲学教師であったアランによる、散文集です。93のプロボと言われる哲学断章には、「哲学」という堅苦しさは存在せず、平易な言葉を巧みに使い、テンポの良い語り口調で幸福について語られています。平易な中にも含蓄のある内容に、ついつい次のプロボへとページが進みます。私のお気に入りの一文があります。『しあわせだから笑っているのではない。むしろ僕は、笑うからしあわせなのだ、と言いたい。』(友情)。みなさんも、自分のお気に入りのプロボを見つけてははいかがでしょうか。

紹介者/森部 准教授

卵の緒

【瀬尾まいこ】

この本は、メッセージ性が強いわけでも、壮大なドラマが描かれているわけでもない。けれど、読めば忘れられない1冊になると断言できる。

主人公の「ぼく」と母親に血縁関係はない。けれど2人はお互いを思いやり、幸せな生活を送っている「親子」。この親子の日常を静かに描いているだけなのに、絆や愛といった「見えない大切なもの」の温かさが伝わり、強く心を揺さぶられる。同巻収録の「7's blood」を読み終わった時には、心穏やかで、優しい気持ちになっているはず。

紹介者/川嶋主事 (学務課)

【編集後記】

図書館広報紙『Camellia』vol.3 が完成しました。約1年ぶりのご無沙汰です。

えっ、君は誰だい、ですって？自己紹介が遅れました。わたしは前号から登場しています。剣八(ケンパチ)です。梅津准教授ファミリーの一員でございます。以後、お見知りおきを。

今号のコンセプトは「知っているようで知らない図書館を紹介します」。図書館をよく利用する人でも「えっ、こんなところにこんな本があったんだ！」と驚くような、図書館の意外なスポットや所蔵資料を紹介しています。

空きコマなどで少し時間があるなあという時、この『Camellia』を片手にぶらりと館内を歩いてみてください。きっと新しい発見がありますよ。

Camellia Vol.3

知っているようで知らない図書館を紹介します

【CONTENTS】

来・ぶらり P.2~3

YOMMU! ~おすすめの1冊~ ... P.4



宮崎公立大学 附属図書館 広報紙
『Camellia』 vol.3 (2013年1月11日)
発行：宮崎公立大学附属図書館
〒880-8520 宮崎市船塚1丁目1-2 TEL.0985-20-4814
URL : <http://www.miyazaki-mu.ac.jp/library/>



宮崎公立大学附属図書館

来ぶらり

刻八くんで行く！ぶらり図書館散策

START ~ここ掘れワンワン♪図書館で意外なスポット見つけた~



ボクと一緒に図書館を散策しましょう♪

a 入退館ゲート



建物に入るとまず目に飛び込んでくるのが、ちょっぴりいかついこのゲート。貸出手続きをせずに出ようとする「ピーピー」と警報が鳴ります。ちょっとドキドキ。たまに過剰反応もするけれど、それもお愛嬌ということでお許しあれ。ゲートを通る時の合言葉は「入る時も出る時も、一人ずつゆっくり右側通行！」

b 図書館カウンター

ゲートのすぐ左側がカウンター。呼び鈴を「チーン」と鳴らせば、図書館職員が颯爽と登場。貸出・返却だけでなく、「探している本が見つからないんですけど…」「〇〇のテーマについてレポートを書きたいんですが、どんな資料を見ればいいのか？」といった相談もオッケー♪ カウンターに設置している検索端末では、資料検索やデータベース検索はもちろん、各種サービスの申込みも可能！とにかく困ったこと・分からないことがあれば、気軽に図書館職員に声を掛けてみてね。



豆知識 貸出冊数/期間は、3年生まで5冊/2週間ですが、4年生になると何と20冊/1ヵ月間になるって知ってましたか？ 卒論研究に入る学生の皆さんの心強い味方です。※もっと長く借りたいからって、「延滞」はダメですよ！

c 個室研究室・キャレルデスク



図書館の奥にひっそりと存在する個室研究室とキャレルデスク（一人用の机）。みんな知ってますか？一人で集中して学習したい人にオススメです。個室研究室にはCDラジカセも設置しているので、リスニングやスピーキングにも最適ですよ。

d 集密書架

図書館内に並べられていた学術雑誌、古くなったものはどこに行ったのかなあ？

実は、学術雑誌のバックナンバーのほとんどは、きちんと製本された状態で図書館の一番奥にある可動式の書棚（＝集密書架）に保管されているんです。「役に立ちそうな論文が載っている雑誌が昔あったんだけどなあ。でも、もう見当たらないなあ」という、あなた。諦めないで！製本雑誌の他にも、全集や白書・統計資料などなど、いろいろな資料が「集密書架」には並んでいます。



f 映像資料視聴コーナー

カウンター近くに並べてあるDVDを視聴することが出来るエリア。「プロフェッショナル」仕事の流儀や「世界遺産」、英語授業の教授法に関するDVDなど、コンパクトながら多岐にわたるジャンルのコレクションが所蔵されているので、空き時間に1本ずつ鑑賞してみても良いかも！ 閲覧手続きはカウンターまで。



g 自然科学分野

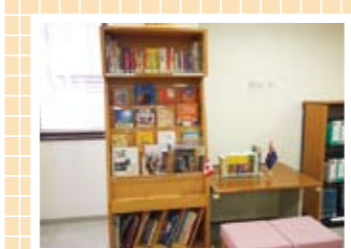
MMUって、自然科学のイメージはないですね（笑）。でも、実は図書館にはそんな本もあるんですよ。場所は、図書館の一番奥。一度ぶらりと足を運んでみてはどうですか？意外に面白そうな本と出会えるかも♪

h 就職コーナー

様々な仕事の魅力や実態、またその職業に就く為のステップについて紹介した「なるにはボックスシリーズ」。企業発信の情報だけではわからない中立な立場で企業の採用や待遇に関するデータを掲載した「就職四季報」。その他、たくさんの図書館資料の中から、就職に役立つ資料を厳選してピックアップ！



i 留学コーナー



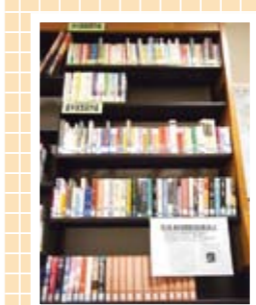
MMUの学生は留学志向が強く、公費留学や私費留学など、さまざまなスタイルで留学を経験する方が多いですよ。留学コーナーでは、そんな皆さんの役に立つような資料をピックアップ！留学したい国の歴史や風俗などについて、事前にしっかりと学習することはとても大事なことです。特に、先輩の留学体験記は要チェック！

j 卒論コーナー

館内の一角にファイルばかり並んだ棚が。。。ここには、過去2年分の卒業論文が各ゼミ毎に配置されています。先輩たちの汗と涙の結晶である卒業論文。1・2年次にゼミ選びの参考にするもよし、3・4年次に卒業研究の道しるべとするもよし。あなたの研究成果が並ぶ日を思い描きながら、その貴重な資料を閲覧させていただきましょう。諸先輩方、ありがとう！



k 受賞作品コーナー



どこの大学でもよく聞かれる声：「大学の図書館って、小説が少ない。」MMUも確かに小説が少ないなあ…でも、このコーナーには過去の芥川賞・直木賞受賞作品がズラリと並んでいます。小説に飢えているあなた。このコーナーの本を片っ端から読破してみてください！

e 芸術分野

まさかの絵本？まさかの写真集？まさかの音楽？まさかの映画？そんな「まさか」がいっぱいの書架を一度ご覧あれ。

ちょっと休憩させて

